

バフンウニの利用研究

福島県水産試験場漁場環境部
平成16年度事業報告書

1 部門名

水産業－利用加工－その他漁種(海)
分類コード 19-03-57000000

2 担当者

齋藤 健・岩上哲也・榎本昌宏

3 要旨

低・未利用水産物であるバフンウニの利用を促すため、利用の障害となっている苦みの季節変化等の実態を把握した。

周年に亘り、生殖腺指数(生殖腺重量/総重量)及び苦み(官能検査)の季節変化を調査し、生殖腺指数は、7月から9月にかけて高い値を示すこと、また苦みは、雄個体からは検出されず、雌個体だけが冬から春にかけて強く、夏から秋にかけて弱くなる傾向がみられた。

以上のことから、生殖腺指数の高くなる7月から9月に雄個体を選択することにより、資源の利用が可能と考えられた

4 その他の資料等

村田裕子ら: 日本味と匂学会誌10巻3号, p539-542(2003)

村田裕子: 平成14年水産総合研究センター研究報告第3号, p133-134(2002)